

ごあいさつ



岡山市連合町内会

会長 池上 正和

岡山市連合町内会は、昭和38年に結成され、今年創立50周年という大きな節目を迎え、盛大に記念大会が開催出来ましたことは、この上ない喜びでございます。ここにあらためて岡山市並びにご協賛いただきました関係各位に対しまして厚く感謝申し上げます。

さて、皆様におかれましては住民自治組織の長として、平素より地域活動の推進と住民自治の発展のため、献身的な奉仕の精神を発揮され、住民自治の究極の目的であります安全で安心して暮らせる地域社会の構築に向けて鋭意努力いただきまして、心より敬意を表します。

ところで、岡山市連合町内会は、8期15年の間、兼松久和前会長の下で飛躍を遂げた時代でありましたが、昨年6月退任を発表され、残り1年間を私に託されましたが、その功績を汚さぬよう、責任の重さを痛感している日々でございます。

我々の事業活動は、年々拡大・充実しており、平成24年度の事業計画は13項目の多岐に亘っております。各種審議会等への委員の派遣、協働のまちづくりを推進するため、市長・市幹部・教育長との懇談、幅広い視野を養うため岡山商工会議所・岡山市社会福祉協議会・連合婦人会等との懇談、更には温故知新の観点から歴史豊かな地域づくりを目指して姉妹交流及び友好交流都市の自治会との交流などがあります。

また、一昨年3月に東日本を襲った大震災では、多くの方々が犠牲となりました。このような災害を目の当たりにしますと、日々の地域活動を通しての相互交流と連帯を深め、住民参加によるコミュニティの形成を通じたまちづくりを進めることの大切さや必要性を痛感いたしました。

平成21年4月には、岡山市も政令指定都市へ移行し、御津町・灘崎町・瀬戸町・建部町のそれぞれの自治会を仲間にお迎えし、95学区・地区連合町内会を組織するに至っております。我々地域住民生活において、地方分権社会の有効性がなかなか見えてこない中で、岡山市連合町内会は、身近な地域住民のニーズを的確に把握できる町内会・自治会等相互の連携を進め、連合組織としての役割を果たしていかなければなりません。

ここに半世紀を迎えた岡山市連合町内会は、過去の50年を振り返り、住みよいまちづくりを目指して邁進していく所存であります。

終りになりましたが、岡山市連合町内会の事業活動に対しまして、より一層のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして挨拶いたします。

祝 辞



岡山県知事

伊 原 木 隆 太

岡山市連合町内会が、このたび創立50周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

昭和38年の協議会発足以来、会長をはじめ会員の皆様方のご努力により発展してこられた岡山市連合町内会には、現在では市内1,723町内会が参画され、まさに岡山市発展の原動力として、安全・安心のまちづくりの推進をはじめ、環境保全、福祉、青少年健全育成など、地域におけるさまざまな課題に精力的に取り組まれ、多くの成果を上げておられます。

人口減少・超高齢社会の到来や厳しい経済雇用情勢など、我が国全体が閉塞感に覆われている今、激しく揺れ動く時代の変化に素早く対応するためには、行政も前例踏襲を是とせず、変わらなければなりません。公選知事としては初の民間出身者である私は、「民間の自由な発想」と「県民の目線」を大切にしながら、スピード感を持ってこのような変化に即応し、「産業振興」「教育県岡山の復活」「安全・安心に暮らせる地域づくり」、そして「県民すべてが誇りを持てる岡山づくり」に取り組み、すべての県民が明るく笑顔で暮らせる「生き生き岡山」の実現に全力でまい進してまいる所存です。

このような中、岡山市連合町内会の皆様方が、奉仕の精神を根幹に住民自治の原点に立ち、社会と自らの関係を「何をしてもらうか」ではなく、「何ができるのか」という観点で捉え、気概を持って活力ある地域づくりに参画しておられることは誠に心強い限りです。

皆様方には、この創立50周年をさらなる飛躍へのステップとされ、引き続き活力ある地域づくりにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、岡山市連合町内会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



岡山市長

高 谷 茂 男

岡山市連合町内会が創立50周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴連合会におかれましては、昭和38年2月の結成以来、50年の長きにわたり、包括的な住民自治組織として、市民福祉の向上と安全・安心で個性豊かな地域社会づくりに多大なご貢献をいただいているところであり、郷土岡山を愛し、ひたすら地域の発展を願う無私の精神で取り組んでこられた歴代会長をはじめ関係の皆様方の献身的なご尽力に対しまして、改めて深く敬意と感謝の意を表する次第です

さて、本市では、都市ビジョンで掲げる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」という都市像の実現に向けて、政令指定都市にふさわしい住みやすく活力あるまちづくりを進めており、とりわけ、「安全・安心な地域づくり」を主要政策の一つと位置付け、「美しい心のまち おかやま」を合言葉に、町内会や自治会など地域の皆様方と協働し、安全・安心ネットワーク活動の支援や住民主体の地域づくり等に積極的に取り組んでいるところです。

近年、核家族化や少子高齢化の進展、生活様式や価値観の多様化等に伴い、住民相互の連帯感や地域のつながりの希薄化が懸念される中、一昨年の中東大震災を機に、人と人との絆や地域コミュニティといったものの重要性が再認識され、町内会や自治会といった近隣住民組織の活動にも改めて注目が集まっております。

こうした中、「安全・安心な地域づくり」の実現に向けては、町内会や自治会をはじめ地域の皆様方のお力が欠かせないものであり、本市としましては、引き続き、貴連合会の皆様方と手を携え、市民の皆様が誇りと愛着を持ち、安全で安心して住み続けられる地域社会の実現に向けて全力で取り組んでまいりたい所存です。

皆様方におかれましては、今後とも、地域を結ぶ要として、そして地域住民と行政をつなぐ懸け橋として、本市のまちづくりに一層のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

栄えある創立50周年の記念すべき節目に当たり、岡山市連合町内会のさらなる発展と、関係の皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばいたします。

大会宣言(案)

岡山市連合町内会は創立五十周年記念大会において、すべての岡山市民とともに、住民自治の発展充実と一人の不幸も見逃さない、平穩で安らぎのある地域社会の構築を目指し、次の目標を掲げ、その達成に努めます。

一、私たちは、住民自治が民主主義の究極の基盤であることに鑑み、良好な地縁団体の維持及び形成を目指します。

一、私たちは、包括的な住民自治組織として、広く地域社会に民意を反映していく責務を果たすとともに岡山市連合町内会会報等により広報活動の充実や、多岐にわたる活動を展開するため、より一層の資質の向上と品格の保持に努めます。

一、私たちは、平成二十三年三月の東日本大震災を教訓として、地域の実状に即した防災活動を強力に推進します。また、東日本大震災により生じた、震災瓦礫の広域処理について地域住民の理解を求めます。

一、私たちは、より強固な地縁団体を目指し、地域住民相互の交流を深め、連帯の輪を広げるため、なお一層の加入促進活動に取り組みとともに男女共同参画社会の推進と新進気鋭の人材の登用に努め組織の活性化を図ります。

一、私たちは、温故知新の観点から、郷土の輝かしい歴史と伝統を子々孫々に伝承し、個性豊かな地域社会の形成、振興に努めます。

以上のことを心に固く期し、ここに半世紀を迎えた岡山市連合町内会は、決意を新たにし、すべての岡山市民と限りなく前進することを誓います。

平成二十五年二月一日

岡山市連合町内会

第2部 活動報告

「岡山市連合町内会の歩み」

第1期 昭和38年～昭和54年

- 昭和38年 2月 岡山市連合町内会協議会結成(23学区)
- 昭和39年 2月 名称を「岡山市連合町内会」と改める
- 昭和44年 10月 岡山市連合町内会西大寺合併総会開催

第2期 昭和55年～平成8年



創立20周年記念大会



創立25周年記念大会



創立30周年記念大会

第3期 平成9年～現在

- 平成 9年 1月 岡山城築城400年関連事業に参画
- 平成11年 4月 岡山県自治会連合会結成、兼松久和氏が初代会長に就任
- 平成13年 10月 兼松久和氏が全国自治会連合会会長に就任
- 平成17年 9月 「晴れの国岡山国体・輝いて！おかやま大会」の開催に貢献
- 平成21年 4月 岡山市連合町内会正副会長、常任理事に定年制を導入
- 平成22年 1月 岡山県自治会連合会創立10周年記念大会を開催
- 平成22年～24年 御津、灘崎、瀬戸、建部地域が岡山市連合町内会に加入

平成11年3月



機関誌「連町だより」創刊